

小針コミ協だより

第6号

平成24年3月31日

発行／小針小学校区コミュニティ協議会
事務局 TEL 266-1851

子どもから家族へ、 そして地域へ…

(こばりっ子新春かくし芸大会)
2012年1月28日



どのパフォーマンスも真剣そのもの。
日頃の成果が発揮され、素晴らしい発表となりました。



感謝・充実感そして悩み…

小針小学校区「コミュニティ協議会
会長 波多雄一



二十三年度も役員・部会員・地域の皆様方そして学校の御協力、御支援によって多彩な事業を成功裡に終了することができました。関係各位に心から厚く感謝申し上げます。そして今年度も大役をどうにか果たせたという充実感もあります。しかし、一方で組織上の悩みや他地区コミ協と比較して遅れていることも多く、焦りを感じているのも事実です。

憲法で定める「地方自治」には、大別して「団体自治（県市町村等の組織運営に関するもの）」と住民自身の活動による「住民自治（自治会活動など）」の二つの概念があるようです。篠田市長の「新潟州」や橋本大阪市長の「大阪都」構想などは、団体自治のありように関するものと言えましょう。

我が新潟市では、政令市発足に当たって「分権型」を目指し、区制をしくと同時に、主に小学校区単位で「コミュニティ協議会」を、区毎に「自治協議会」を発足させました。しかし、自治協は条例設置ですが、コミ協は、自治会等の任意加盟です。このため当コミ協では、中心部の大自治会が一つだけですが未加盟という区内でも例のない情況が続いております。

「自治会・コミ協・自治協」という当市の住民自治の構造変化は、様々な住民自治活動に変革をもたらしつつあります。一つとはいえ大自治会の未加入問題を抱える小針コミ協の問題は深刻で、拠点施設の無いことと併せて「悩み」は深いものがあります。小針を愛する会員皆様の更なる連携と具体的な活動で、当コミ協の着実な前進を願つてやみません。

総務部会

部会長・波多雄一

始めて懇親会を開く

この部会は、小針コミ協に参加する十九自治会の会長で構成する自治会長会です。自治会の参加によって小針地区全住民のコミ協参加が果たされますので、まさにこの部会は、当コミ協の中核組織と言えます。そういうことから当コミ協発足以来、部会長は、会長が兼務しています。

今年度は、十二月九日に第二回の会議を開催しました。今年度事業の進捗情況等の確認を行った後、中心議題である各自治会のコミ協負担金について協議しました。本部提案は、各自治会は一世帯あたり「年額一〇〇円」をコミ協負担金として拠出するということでした。「コミ協が自立した住民組織として、自己資金を持つことは当然のことであり、現況のように市の助成金のみに依存した会運営は原則であり、未来への発展は期待できない。」等の趣旨説明を行いました。

しかし、「正確な事業計画に基づく資金需要の必要性が示されなければ、提案は受け入れ難い」という意見が出され、一時間余に及ぶ活発な議論が交わされ、結論は持ち越しとなりました。

▼「防災セミナー」の開催 〈私たちの地域防災を考えよう！〉

十一月十三日、小針小学 校多目的教室に於いて、講師に江尻東磨様（柏崎市北条地区コミュニティ振興協議会会長）を招き、二度の大震災を乗り越えた体験に基づいた「地域防災について」の講演をして頂きました。参加者一二四名で、自主防災組織の必要性や災害での対応について学びました。



▼防災・防犯部会の開催

八月二十日、小針小学校で開催された同大会で、一、四五〇名参加の中でも児童の安全を図る為、地元自治会の応援を頂き、会場の警備・巡回を実施しました。



防災・防犯部会

部会長・渡辺誠

福祉部会

部会長・加藤一男

▼「元気いきいき教室」歩くことと力を身につけよう

（九月二十一日・十月五日、西新潟市民会館・多目的ホール。十月十九日、西川ウォーキングコース）延べ九十名参加。

新潟大学、篠田浩子講師をお迎えして三年目になりました。今回は東日本大震災津波の逃げ遅れによる被災を課題の一つに加え、早く安全な所へ逃げる実践的脚力を作る講習となりました。

新潟大学教授・篠田邦彦先生のご協力により、参加者の脚の筋力測定を実施し、各自バランスのとれた筋力をめざす一歩となりました。



▼「元気いきいき教室」講習会

『笑い』と『元気』の処方箋

（十一月三十日、西新潟市民会館・大会議室）

参加者は五十七名。

東日本大震災、台風、水害等災害の多い年で沈みがち時に市民の交流と「お笑い」で元気を取りもどそう。講師に、お笑いクラブ新潟代表・袖山由美子先生をお迎えしました。笑顔—気持ちがいい—愉快になる—いいアイデアが生まれる。笑う—良い対人関係—健康になる（血圧、血糖値がさがる）等、自身の経験を含んだ『笑い』の効用を話していただきました。

その後、当コミ協創設以来始めて懇親会を開催し、和やかな雰囲気の中で談論風発、懇親を深めることができました。小針コミ協発展の契機となることを心中深く祈念した次第です。

青少年健全育成部会

部会長・小島美奈子

「主催事業」

▼「しばづりっ子新春かくし芸大会」

(一月二十八日 西新潟市民会館)

「小針小学校区コミュニティ協議会」のクリアファイルを作成しました。シンプルなデザインで使いやすいと好評です。



環境部会

部会長・木村吉良

▼「西区一斉クリーンデー」

(八月七日 参加人数一八八名 (昨年比四十五名増))

今年度も小針小学校への通学路を中心に安全点検とごみ拾いを実施しました。

今回、実施に当たり「青少年健全育成部」のご協力をいただき、朝早くからの行事にもかかわらず、児童、保護者の皆様に多数参加いただきました。意義あるクリーンデーであったと思います。

ご協力いただきました育成部の皆様に心から感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

今後もこの行事を継続していくことで、地域の一体感と環境美化意識の向上に役立てばと思つております。



▼地域交流会

(三月十九日 小針小学校)

小針小学校区内の子どもたちの活動に参加してきたコミ協メンバーや、今年度の振り返りと来年度以降への展望を語りながら、親交を深めました。

▼「共催事業」

▼七夕祭り

(七月二日 西新潟

市民会館)

ふれあいサロンに協力しました。



▼小針納涼大会

(八月二十日 小針小学校

敷地内)

小学校において、子どもたちや地域の方々のステージ発表を担当しました。新しくなった体育館で、地域のみなさんのさまざまな出し物が華やかに披露されました。

▼クリスマス会

(十二月十五日 喫茶ラック)

参加者六十名が歌うことを通して親交を深めました。

文化・体育部会

部会長・南波毅彦

▼ソフトバレー教室

(九月十七日 小針小学校体育館)

小中学生とお母さん方の参加で、全身ストレッチと水分補給のタイミング講座。ボール投げ・ボール打ちなどを体験しました。

参加された方々の大半は「かつてバレー部でなつかしさもあり、ソフトバレーならできると思って」と話されていました。みな爽やかな汗を流していました。



事務局長から一言

前田昭弘

地元のみなさんとが、交流を深めただけで、絆を強めています。一年が思ひどり思ひどりの地域に対する行動が、地域を実現させたのだと思います。ご協力ありがとうございました。



自治会を軸にして小学校、中学校のPTA・育成協、文化、スポーツ、環境、福祉などの団体が集まって住民活動を展開する地域共同体です。

新潟市は政令指定都市への移行に伴って全市の各小学校区で地区Community協議会を設立しました。

「小針小学校区Community協議会」会員名簿

自 治 会 名	
1	小 新
2	小新第2
3	青山上山
4	小針が丘
5	小針銀座
6	小針藤山県営アパート
7	小針藤山
8	東小針
9	小針南台
10	南小針
11	小 針
12	小針弥生町
13	東日本高速小針
14	小針東仲町
15	小針1丁目
16	小針幸町
17	サーパス小針南台
18	サンフレンズ小針中央 小新
19	サーパス小針中央

諸 団 体	
1	小新交番防犯連絡協議会
2	浦山地区防犯連絡協議会
3	民生・児童委員協議会
4	区老連坂井輪東部地区協議会
5	西川をきれいにする会
6	小針小学校PTA
7	小針中学校PTA
8	小針小学校育成協議会
9	小針中学校区健全育成協議会
10	小針小学校交通安全推進協議会
11	西交通安全協会 小針山手支部
12	西交通安全協会 浦山支部
13	小針子どもセーフティスタッフ協議会
14	小針小学校区スポーツ振興会
15	小針青山公民館利用団体連絡協議会
16	文化村さかいわ
17	地域ふれあいサロン



どうぞCommunity協の活動に参加し、小針小学校区の地域力を支えていただきたいと思います。
（横坂幸子）

各部会の報告を見ながら、参加者の多さに驚かされます。小針の方々よつて安心して暮らせる地域づくりがはじまっていることを感じます。

編集後記

平成二十三年度	
会 長 （小針一丁目自治会会長）	波多 雄一
※西区自治協議会委員兼務	
副 会 長 （東小針自治会会長）	見崎 義昭
副 会 長 （小針幸町自治会会長）	横坂 幸子
会 計 監 査 （小針弥生町自治会会長）	青柳美代子
事 務 局 長 （小針自治会長）	前田 昭弘
※事務補助 （狩谷明美）	大野 弘
会 計 （小針藤山自治会）	（主任児童委員）